

議員特別研修実施報告書

報告議員名	井上 忠征	報告日	令和 8年 3 月 3 日
調査研究・研修等 名 称	地方議員研究会主催セミナー 交通空白解消フォーラム		
実 施 日	令和8年1月13日 (火) ~14日 (水)		
会 場	(在宅研修) 紙資料とUSBメモリ活用		
調査研究・研修等の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通空白と地域公共交通の役割① <ol style="list-style-type: none"> 1) 地方都市と地域公共交通の現状 2) 地域公共交通の定義と役割 3) 地域公共交通のまちづくりに与える効果 2 交通空白と地域公共交通の役割② <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域公共交通活性化再生法の改正 2020年 2) 活性化再生法から地域交通法へ 2023年 3) 地域公共交通計画の役割 4) 地域公共交通計画 策定時見直し時のポイント 		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>地方都市に於ける人口減少高齢化に伴い、公共交通利用者の減少や運転士不足から、公共交通空白地域が拡大する現状と、地域公共交通に求められる役割の解説があった。</p> <p>次に、法令改正による地域公共交通会議と法定協議会（活性化協議会）の経緯と内容の解説があり、これからの地域公共交通の在り方と対応策が教示され、横手市での地域公共交通の在り方について示唆に富む研修であった。</p>		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

議員特別研修実施報告書

報告議員名	井上 忠征	報告日	令和 8年 3月 31日
調査研究・研修等 名 称	地方議員研究会主催セミナー 地方議員のための歳入増加策と歳出削減策		
実 施 日	令和8年1月19日 (月)		
会 場	(在宅研修) 紙資料とUSBメモリ活用		
調査研究・研修等の 概 要	<p>1 歳入増加策編 今後の財政リスクを考えるなら具体的な歳入を増やす検討をするべき①ふるさと納税 返礼品のモノからコト消費・トキ消費への転換 ②各種公共施設の民間活用維持管理 ネーミングライツ・広告収入スポンサー収入 ③保有財産の有効活用 貸出・借入資産の料金点検 ④施設のセール&リースバック ⑤法定外新税の導入</p> <p>2 歳出削減策編 ①夕張市財政破綻の原因と再生への状態 ②財政再建は歳出ベースで、予算編成の見直し・選択と集中、政策の発想の転換、事業の見直し ③金を借りてのモノ作りは終わった (PPP 民間連携・PFI・PFI コンセッション) ④民間委託の新しい形 (施設包括管理) PFS (成果連動型民間委託) の活用、SIB (外部資金調達を伴う成果連動型民間委託) ⑤人事制度の見直し (給与表の見直し)</p>		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>横手市の財政状況は、大型公共施設の建築等で合併特例債の限度額を使い切った状態にあり、今後は自主財源の確保とともに歳出の見直しが迫られているなかでの研修項目であり、今後の財政を考える際に非常に参考になる内容であった。</p> <p>細かな歳入でも積み上げること、また、歳出にあつては市政の運営方針をしっかりと捉えたうえで、発想転換・事業見直しも大いに取り入れていくべきと認識した次第である。</p>		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

議員特別研修実施報告書

報告議員名	井上 忠征	報告日	令和 8年 3月 31日
調査研究・研修等 名 称	地方議員研究会主催セミナー 人口減少特別フォーラム (自治体経営の真実と議会質問の極意)		
実 施 日	令和8年1月23日 (金) ~ 24日 (土)		
会 場	(在宅研修) 紙資料とUSBメモリ活用		
調査研究・研修等の 概 要	セッション1 自治体経営のリアル ① 財政・人事・政策運営の意思決定プロセスをひもとく ② 人口減少時代の経営課題は財政・人材 セッション2 役所の内情と現場のリアル ① 執行部の行動傾向、役所の上手な使い方 ② 職員から見た議会・議員像 セッション3 議会質問の極意 ① 質問の在り方、何のために行うのか ② 役所に効く質問・NG質問		
調査研究・研修等の 成果と感想	今回の研修会は、三人の元副市長が講師となって、体験を基としての内容であった。 自治体の経営側から見ての行政運営と、議員をどのように捉えているかの視点が大変に参考になった。 また、セッション3では議会質問の極意として、対応が事細かに解説されており、自身のこれまでの一般質問等での質疑の在り方を点検するとともに、今後の対応・対策を改めて再確認できた有意義な研修であった。		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。